

2025年8月期 第2四半期 (2024年9月～2025年2月)

決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
東証スタンダード
証券コード：6668



2025年8月期 第2四半期連結業績

2025年8月期 2Q実績の概況

売上高（前期比 +31.5%） 受注高（前期比 +66.4%）

- 半導体・液晶関連事業：ディスプレイ向け成膜装置メーカーの受注を獲得。半導体製造装置メーカーにおいては海外からの受注が堅調に推移。ただし、国内向け売上は依然として変化はなく、低調に推移。
- 研究機関・大学関連事業：医療装置向け加速器用電源の出荷等により、売上は堅調に推移。

経常利益（前期比 +273.0%）

- 為替相場の変動による為替差益（営業外収益）の発生により、大幅な増益。

2025年8月期 業績予想

- 2024年10月11日公表の通期業績予想を据え置き。
半導体市場は海外を中心に徐々に回復傾向にあるものの、今後の需要動向を慎重に見極めるため、現時点での業績修正は保留とする。

連結業績概要

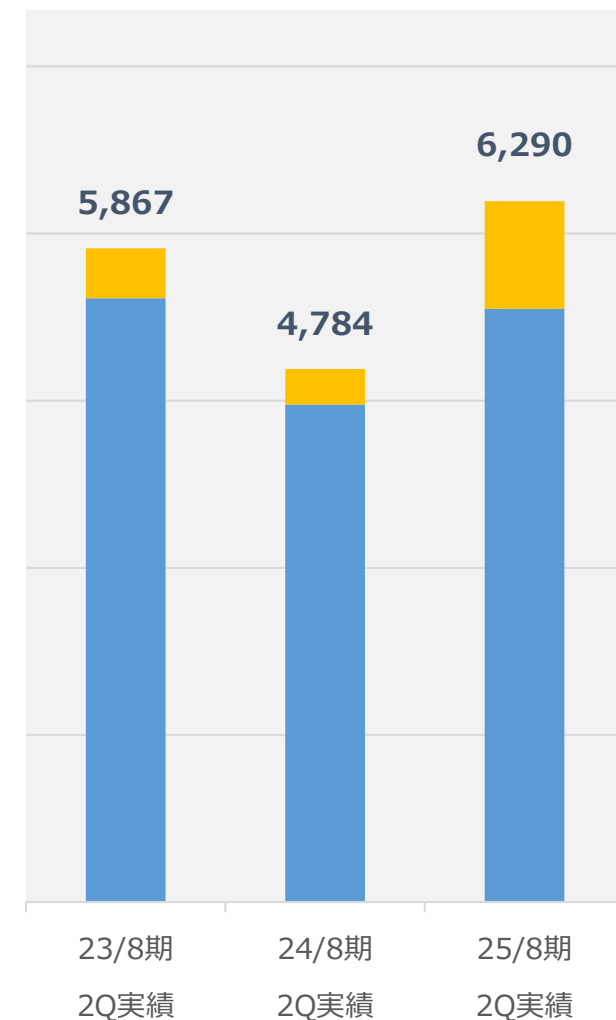
(単位：百万円)	24/8期 2Q実績	25/8期 2Q実績	前期比 増減率	予想	
				25/8期 業績予想	前期比 増減率
売上高	4,784	6,290	31.5%	12,200	8.0%
売上総利益	1,721	2,329	35.3%	-	-
営業利益	359	807	124.7%	1,890	27.2%
経常利益	338	1,262	273.0%	1,800	11.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	164	990	500.9%	1,300	7.1%

連結売上高・営業利益の推移



セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



(単位：百万円)		24/8期 2Q実績	25/8期 2Q実績	前期比 増減率
■ 半導体・液晶 関連事業	売上高	4,465	5,324	19.2%
	営業利益	371	754	103.2%
■ 研究機関・大学関 連事業	売上高	319	966	202.9%
	営業利益	▲47	16	-
合計	売上高	4,784	6,290	31.5%
	営業利益	323	770	138.6%

※各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

連結地域別売上高

地域別売上高推移

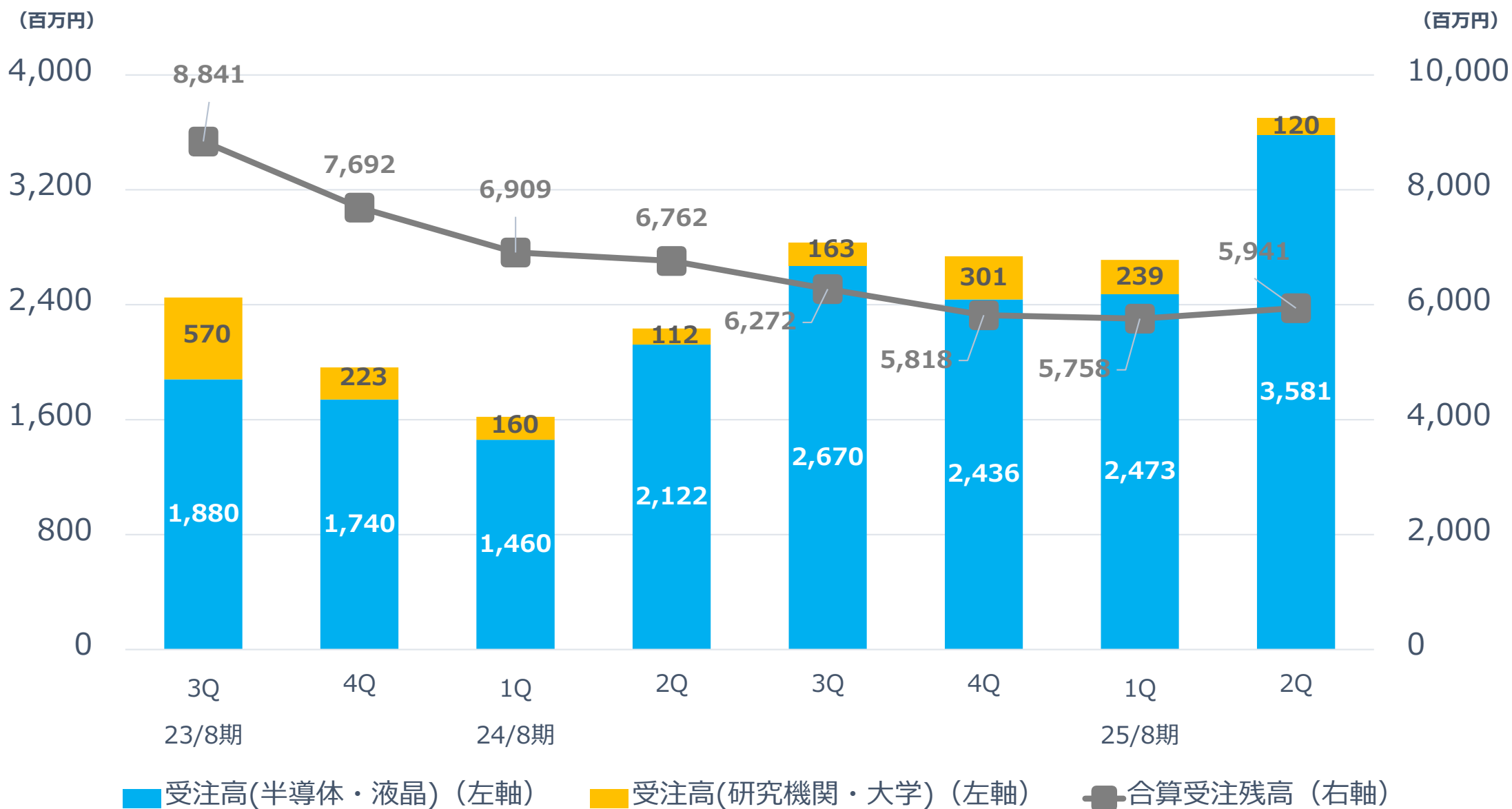
(単位：百万円)
7,000



日本	2,926	1,803	2,441
アジア地域	1,955	2,074	2,789
米国	796	730	829
欧州	189	176	229

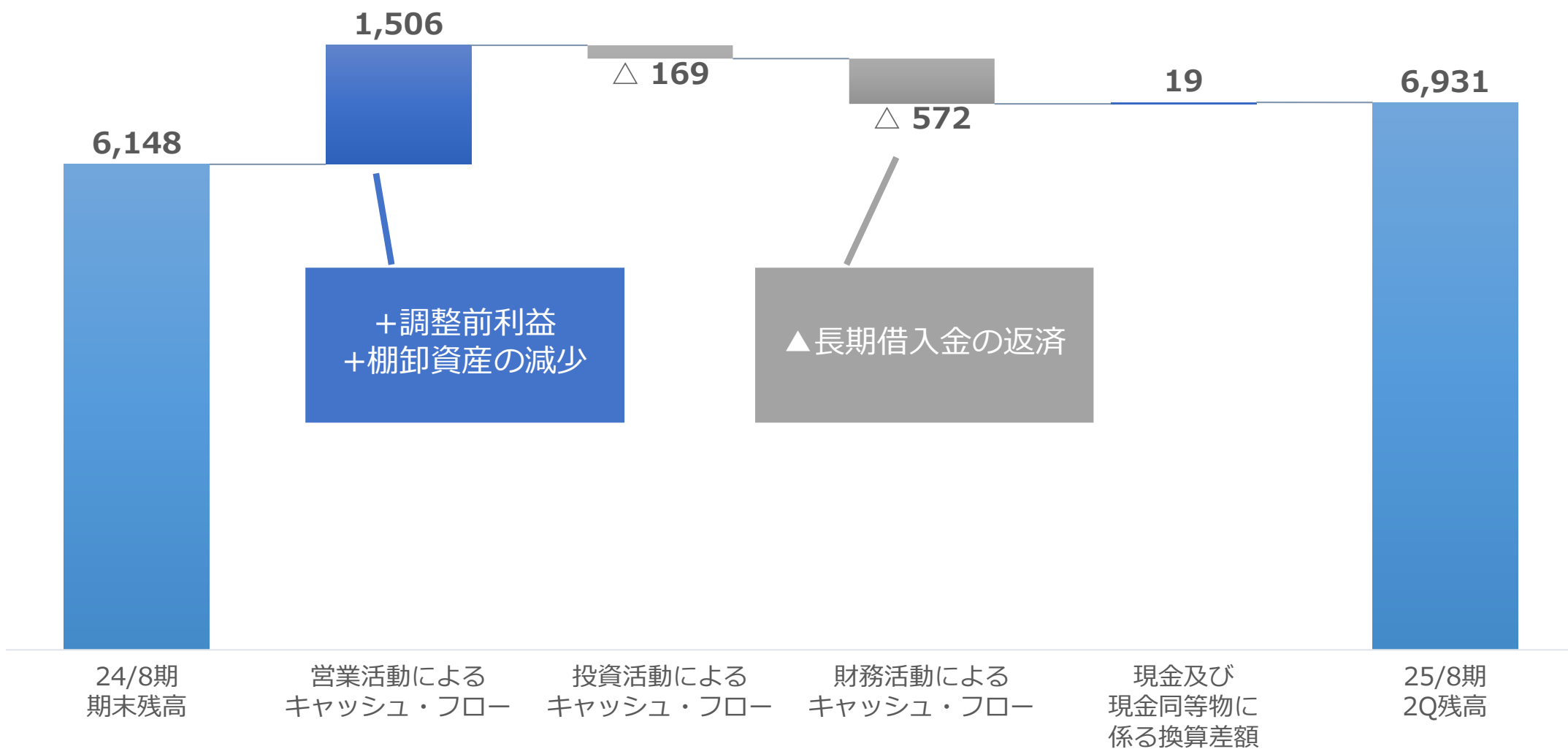
(単位：百万円)	25/8期 2Q実績	セグメント別内訳	
		半導体・液晶関連 事業	研究機関・大学関 連事業
日本	2,441	1,474	966
アジア地域	2,789	2,789	-
米国	829	829	-
欧州	229	229	-
合計	6,290	5,324	966

セグメント別受注高・受注残高推移



連結キャッシュ・フロー

(百万円)



2025年8月期 連結業績予想

業界		2025年 (1月～6月)	2025年 (7月～12月)	2026年 (1月～6月)	内容
半導体	メモリ				AIサーバー向けをメインとし、HBMの投資が引き続き行われる。 2025年後半からDRAMの在庫調整が終わり、設備投資が行われると見込む。
	ロジック				最先端向け：アメリカ・台湾・韓国を中心に設備投資が再開。 2026年以降もこの設備投資は継続すると見込む。 先端・レガシー向け：主に中国市場の在庫調整が終わり、設備投資が行われると見込む。
	イメージセンサ				AIスマートフォン、PC等：横這い。 自動車向け：EV市場原則による需要減少。 デジタル、ミラーレスカメラ市場：需要上昇傾向。 トータルで考え、横這いすると見込む。
	車載半導体				EV不況、自動車関税等、世界的に需要減少傾向。 回復時期は、2026年下期以降を見込む。
光学系	スパッタ・蒸着 (有機EL・FPD含む)				スパッタ装置（スマートフォン・タブレット向け）：2025年上期に設備投資が行われ、下期も引き続き設備投資が行われると見込む。 蒸着装置：在庫調整が終わり、2025年上期より需要回復傾向。

連結業績予想

(単位：百万円)	24/8期 実績	25/8期		
		2Q実績	通期予想	進捗率
売上高	11,298	6,290	12,200	51.6%
営業利益	1,485	807	1,890	42.7%
経常利益	1,612	1,262	1,800	70.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,213	990	1,300	76.2%

トピックス

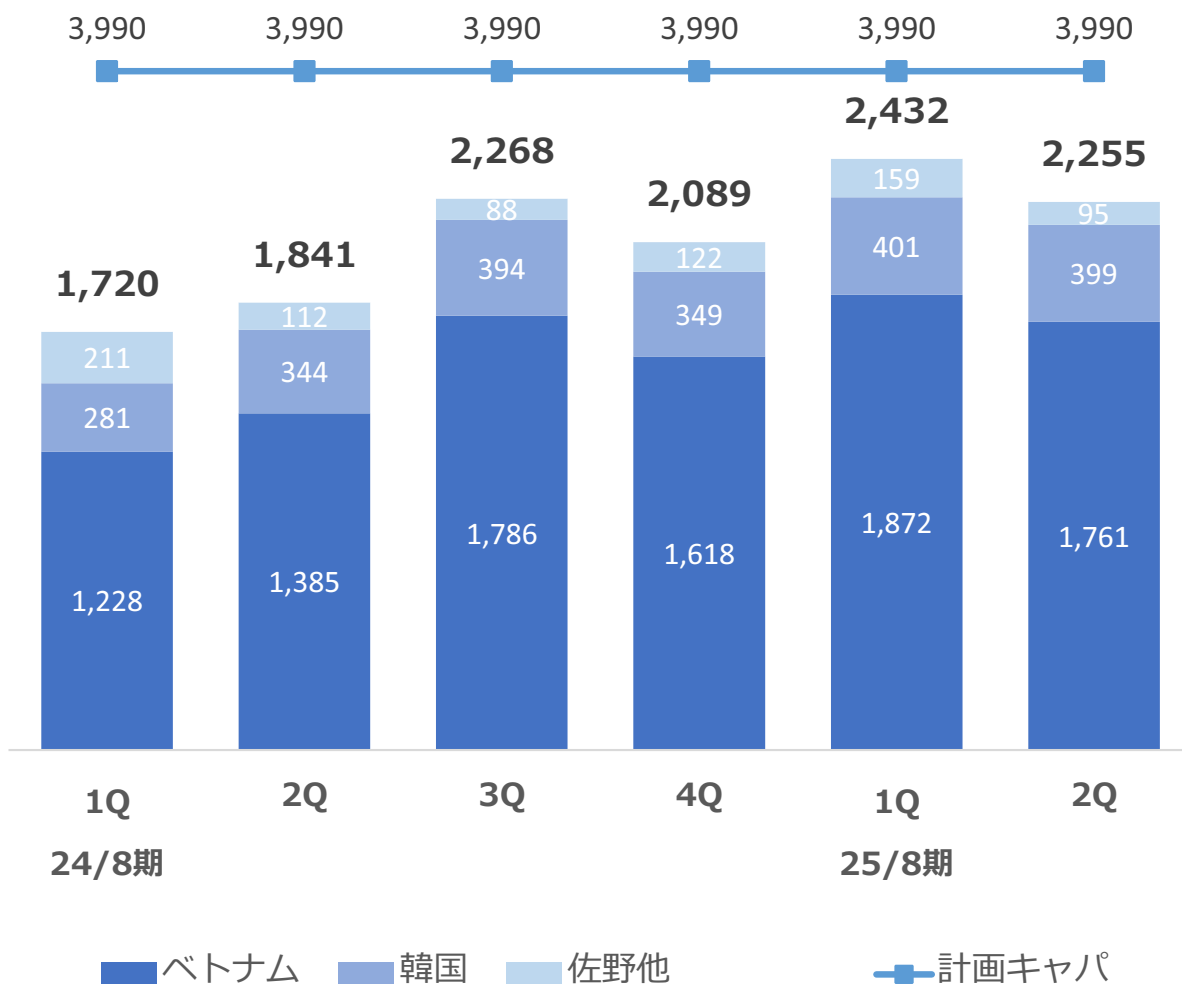


2024.09
SEMICON Tiwan

2024.12
SEMICON Japan

2025.02
SEMICON Korea

高周波電源・マッチングユニット 生産実績台数



『ベトナム生産現場改善チーム』発足

日本国内で業務改善チームを編成し、
ベトナム生産現場へ展開

発足日：2024年7月

チームの目的：

1. ベトナム生産現場の改善
2. ベトナムと日本国内との連携強化
3. 客先の工場監査への対応
4. トラブル、不具合改善への対応
5. 人材育成



製品ラインナップ充実の取組

RFG	TXH AVL	60MHz 3000W	量産機 開発中
	新 TSE	13.56MHz 5000W	量産機 開発中
	新 AVL	13.56MHz 5000W	New
		13.56MHz 1000W	New
		13.56MHz 3000W	開発中
		2MHz 3000W	開発中
		27MHz 3000W	開発中

MU	新 AVM	27MHz 1000W	New
		2MHz 1000W	New
		2MHz 3000W	開発中
	新 電子MU	13.56MHz 150W	開発中

直流電源	バイポーラ 電源	1000V25A 10kW	開発中
		1000V50A 20kW	開発中
		1000V75A 30kW	評価中
	DCパルス 電源	1500V 3A 1500V 0.5A 5300W	評価中
		2000V 5A 1500V 0.8A 11kW	評価中

計測器	新 ADS	13.56MHz 5000W	開発中
	新 ADM	13.56MHz	開発中

新製品	プラズマ タクト	PLT-200	量産機 開発中
	AWポット 評価中		

マイクロ波 応用機器	マイクロ波 ソリッドス テート合成 器	2.45GHz 250W×2 250W×4 評価中	
---------------	------------------------------	---------------------------------	--

RFG	新AVL : 高速制御電源 Mark5		
	新TSE : 高効率電源		

MU	新AVM : 高速制御電源用 Mark5		
	新電子MU : 電子マッチングユニット		

計測器	新ADS : 50Ω系パワーセンサ		
	新ADM : 非50Ω系インピーダンスセンサ		

■ RFG=高周波電源 ■ MU = マッチングユニット

中国市場のシェア拡大

半導体関連企業が多数進出する中国広東省深センに、事務所を新設

- 機能
- アフターサービス
 - 営業活動

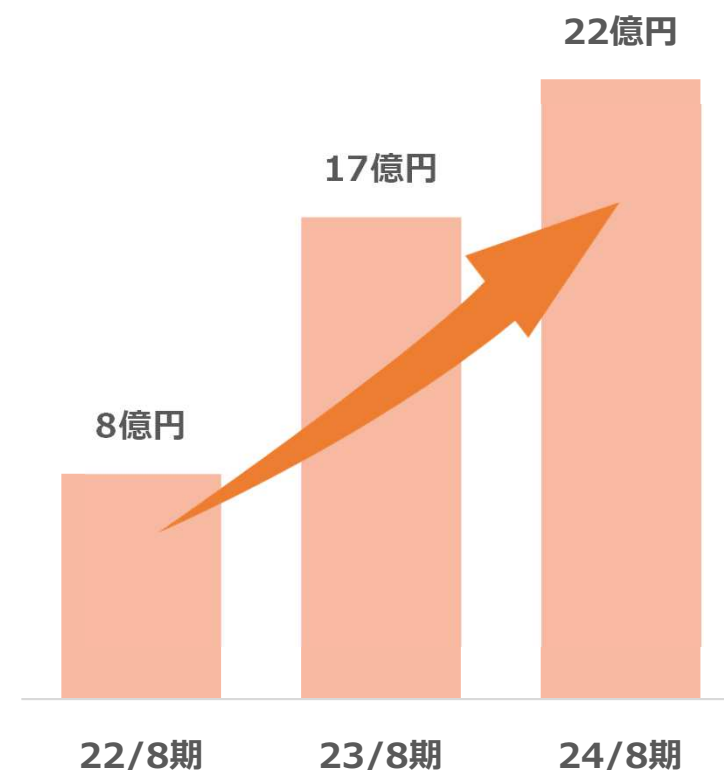
開設日 2025年1月1日

従業員数 1名（順次増員予定）

住所 807, Building 3, Wanting Building, Laodong Community, Xixiang Street, Baoan District, Shenzhen City, Guangdong Province, China



中国向け
通期売上高推移



2025年3月1日付にて以下の取組みを実行

■ IDX量産開発業務のアドテックへ集約

集約製品 : バイポーラ電源
マイクロ波システム等の量産製品

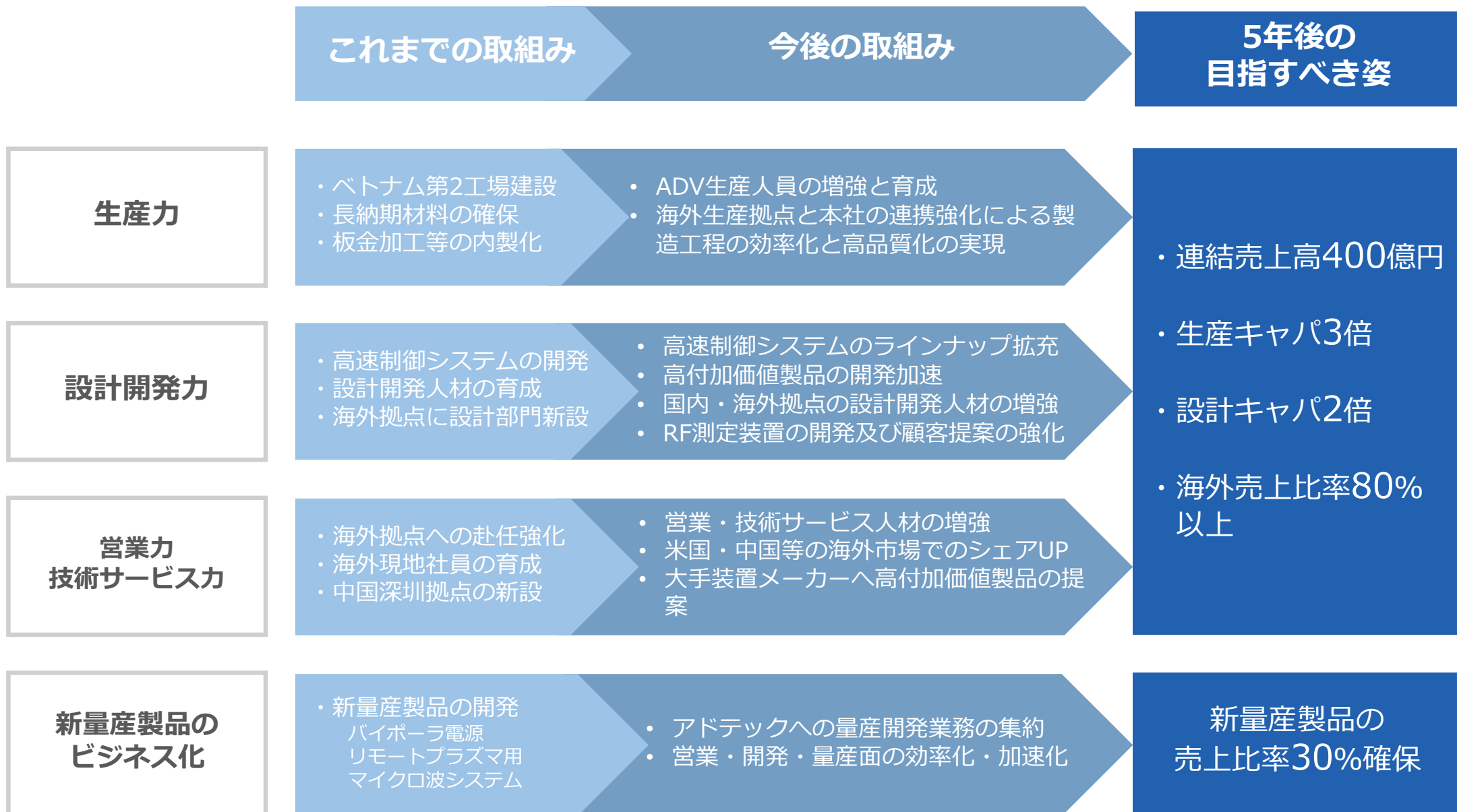
集約の目的 : 新量産製品の開発・量産・営業面の加速化と効率化の実現

アドテックの量産ノウハウを生かし新量産製品案件の
早期獲得を目指す



■ 「ものづくり推進部」の新設

佐野事業所に「ものづくり推進部」を新設し、佐野生産部門と佐野設計部門を一つの部署に統合し、開発設計から生産までの早期化を実現



ご参考資料

会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月26日
所在地	広島県福山市引野町五丁目 6 番10号
決算期	8月
資本金	835百万円（2025年2月末）
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数（連結）	516名（2025年2月末/臨時従業員除く）
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
グループ拠点	国内：広島・神奈川・栃木 海外：米国・英国・ベトナム・韓国・台湾・中国

半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させる高周波電源を主力製品とした関連製品の設計、製造、販売、サービスの提供

ユーザー

- 半導体製造装置メーカー
- 光学機器メーカー etc.

主力製品

- 高周波電源（RFG）
- マッチングユニット（MU）
- 計測機器

会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
Adtec Technology, Inc.
Adtec Europe Limited
ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.
ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.
ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.
ADTEC Plasma Technology China Ltd.
Adtec Healthcare Limited

研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用される、治療装置や実験施設等の電源装置の設計、製造、販売

ユーザー

- 国の研究機関
- 大学及び大学病院
- 一般産業 etc.

主力製品

- 粒子加速器電磁石励磁用電源
- 直流電源
- マイクロ波応用機器
- 高電圧電源

会社名

株式会社IDX

アドテックグループの強み

▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力
電源専門メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力
高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

RFG・MUの使用工程例

シリコンウェハー上に作られるICチップの前工程

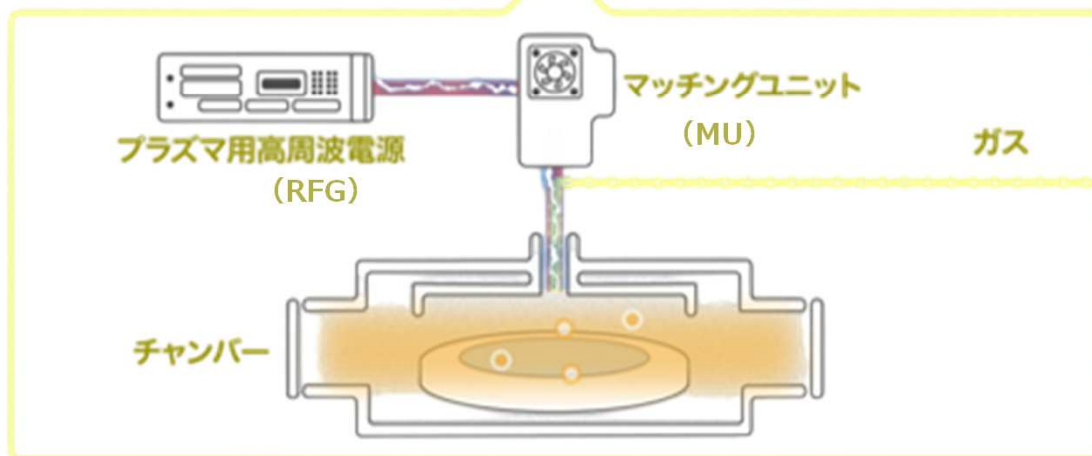


安定性
Stability



ドライプラズマ
プロセス

耐久性
Durability



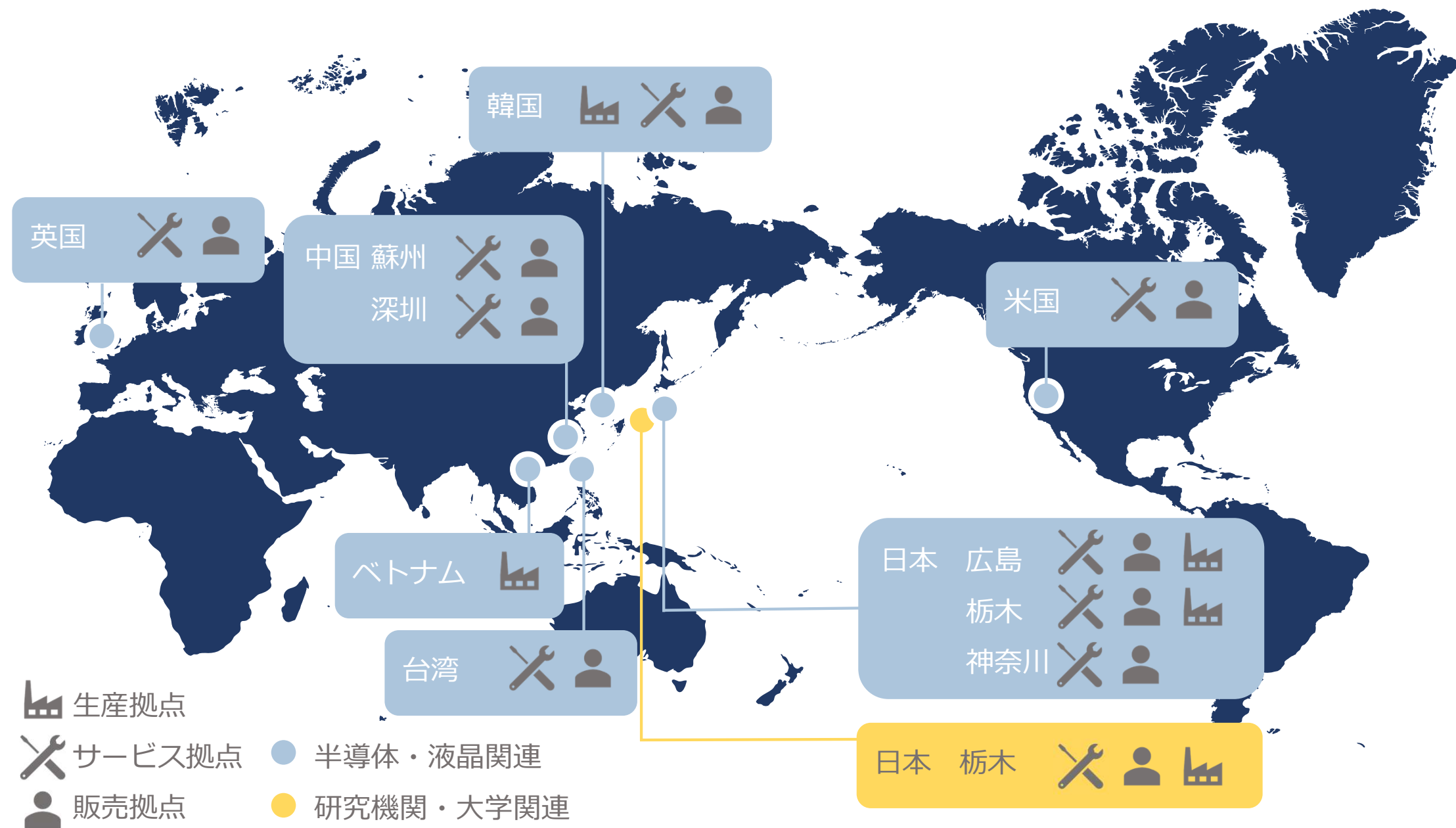
半導体製造プロセスにおいて、エッチングや成膜などの微細加工を実現する為に、プラズマ発生用の高周波電源は必要不可欠。

【求められる性能】

チャンバー内で起こる現象に合わせ、安定したプロセスを再現できる必要がある為、安定した正確な電力供給ができる制御技術と、耐久性が求められる。

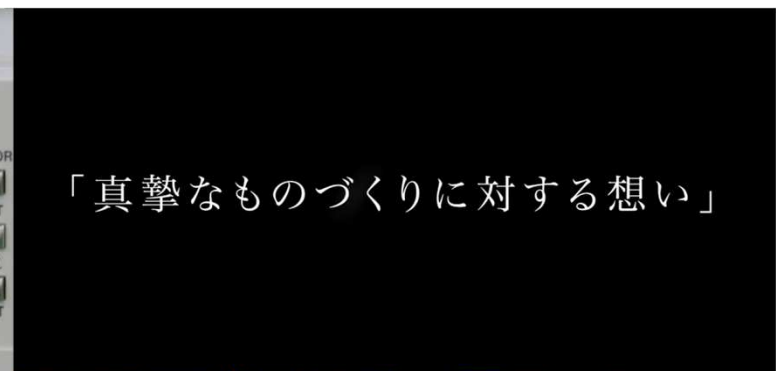
【当社主力製品RFGの強み】

革新的な電気回路技術を用いて、故障率が低減した製品。



会社設立40周年特設サイトを開設

会社設立40周年に際して、特設サイトを開設
インタビュー記事、40周年コンセプトムービーを公開



40周年コンセプトムービー



https://www.adtec-rf.co.jp/40th_anniversary/

ご清聴ありがとうございました。



■将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。